

2019年6月4日

学校法人三幸学園
名古屋辻学園調理専門学校
校長 横田 文良 殿

学校関係者評価委員会
委員長 堀 潔

学校関係者評価委員会実施報告

2018年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 堀 潔 (Café&Bar Holy オーナー)
- ② 櫻井宏次 (飛鳥未来高等学校名古屋キャンパス 副校長)
- ③ 吉野有紀 (上級調理師科第2期卒業生)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2019年6月4日 (会場 名古屋辻学園調理専門学校 4F-5教室)

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2018年度 学校法人 三幸学園 名古屋辻学園調理専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者 : 副校長 小林 有洋

学校関係者評価報告責任者 : 学校関係者評価委員会委員長 堀 潔

1. 学校の教育目標

三幸学園は、昭和60年の開校以来『技能と心の調和』を教育理念に掲げ、教育を展開してきた。ここでは、社会への有益な職業人を数多く輩出することを目標に、“有益な職業人とは、専門的知識・専門的技術を十分持ちながら、常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため日々研究・研鑽を続け、職業人としての使命感をしっかりと確立した人物”と定義し、心豊かな人間性を育む教育に注力している。

この基本理念は、教職員に対しては、教職員手帳に明記し配布しているほか、全教職員が一同に集う「全体会議」や全国の教職員が集まる研修会である「ビジョンミーティング」や「サマーセミナー」において理事長からの訓示の中で繰り返し唱え、共有化を図っているものである。また、学生に対しては、「入学式」や「スタートアッププログラム」において、校長や教職員からの言葉として示すとともに、本校独自のカリキュラム「成功の法則」の授業で使用する「夢のスケッチブック」に記載し周知を図っている。このほか、受験生、高等学校、保護者等に対しては、オープンキャンパス、高校訪問、保護者説明会などを通じて伝え、また、パンフレットに明記することにより学内外の周知に努めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

- ・2018年度は総定員クラス数の運営となり、各教室・実習室の運営状況の確認や運営の見直し、教職員の増員による情報共有の強化などを図りながら学校運営を行った。総定員クラスが動く中で運営方法の見直しを行い2019年度につなげる。
- ・学園としての理念・学校目標は明確に定まっているものの、教職員の増員により指導の統一に懸念があったが定例職員会議などで情報共有や運営方針の統一を強化する事により可能な限りの共有がなされた。
- ・開校よりカリキュラムの体系化は進んでいる。しかしながら総定員クラスの運営を迎え見直す点も多く、定期的に運営内容を振り返りながら年間カリキュラム・シラバスの見直しを行い2019年度へつなげた。
- ・当校の卒業生も開校3年間で累積100名を超え卒業生への支援体制の構築をめざし、企業訪問を積極的に行った。また、訪問時に課外活動に対する支援体制も図る事が出来た。また、就職先の開拓も更に進んでいる。
- ・各行事の見直しを行い海外研修旅行をはじめ各行事の体系化がなされた。インターンシップ受け入れ企業も増え、規約の明確化も進んでいる。

② 学校関係者評価委員会コメント

堀委員

教職員間における情報の共有力が弱いと感じるところがあった。共有が弱い為に発信内容の訂正も見受けられた。改善の余地を感じる。2019年度の運営において情報共有力を意識して強化頂きたい。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

学校の理念・目的・育成人材像は学園として明確に定められている。しかしながら生徒・保護者への周知に関しては課題が残る。また、各高等学校への周知も課題と考える。

② 今後の改善方策

入学前に行われる保護者対象説明会の内容、また体験入学会における説明内容を見直して学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などなどがより伝わる内容に更新する。また、在校生の出身校を訪問し、高校教員へも周知を図る。

③ 特記事項

教育理念から人材育成をより体系化するべく、三幸学園の教職員としてのビジョンを「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」と設定し、調理分野におけるビジョンを「食を通じて、日本を明るく元気にする」と設定した。これらを踏まえて、人材育成方針を「伝統に培われた技術と心を高め、食文化を通じて社会に貢献できる人材」と設定し、全教職員への浸透を実施している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

吉野委員

辻学園が名古屋にあると言う認識は少しずつ増えているように感じるが、理念・育成人材像や業界のニーズとなると未だ周知度は低いように感じる。在校生の出身校に訪問される事は周知に繋がると思います。

堀委員

各企業などを訪問し業界の意見をより多く取り入れる事で業界のニーズを把握すると共に周知も行えると考えます。

(2) 学校運営

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

新たな情報システム化が図られているが全教職員でのマニュアル共有に課題が残る。また、三幸学園全体としての運営組織、規則など体系化されているが、当校においては学生数の急増、それに伴う教職員の急増などの環境変化もあり運営方針の策定や規則の明確化、共有に未だ課題がある。

② 今後の改善方策

新たなシステムに関するマニュアルや三幸学園に定まった運営方針、規則など現存する情報を定例職員会議などを利用し情報共有を強化して体系化していく。

③ 特記事項

三幸学園のスケールメリットを活かし、姉妹校間で情報や資料を共有し業務効率化を行っている。また、各雇用形態に準じて就業規則や職員行動指針を設定して職員会議にて共有し就業規則の徹底を行っている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

櫻井委員

新入職員に対する研修を充実させる事により運営方針の統一や規則の遵守を組織全体で教職員の増加も踏まえて図る事が出来る。また、細部の業務にわたっては実務を行っている各業務担当者が説明を行う事によって、より正確な統一が図れると思われる。

堀委員

人事や給与面に関しては体制が整備されて制度が整っていると感じる

(3) 教育活動

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

教育課程編成委員会を定期的実施し、各委員からの意見も取り入れながらカリキュラムの構築や体系化を行っている。2019年度より授業時間の変更を行いより充実したカリキュラムの構築・体系化を目指す。また、関連分野における業界の開拓と連携強化も課題にある。

② 今後の改善方策

2019年度はより良い授業を目的に授業時間の変更を検討。新たな授業時間を有効活用できるように各授業担当者と定期的な会議を持ち新たなシラバスの構築を行う。関連分野における業界への訪問を行い、更なる開拓を目指し情報交換と連携の強化を図る。また、分野における最先端の知識や技術などの情報は全教員へ共有を行う。

③ 特記事項

職業教育実施時に当校学生の状況詳細をヒヤリングしシラバスをはじめ今後の教育に業界の意見を取り入れる。

④ 学校関係者評価委員会コメント

堀委員（上級調理師科について）

調理技術においては辻学園において培われた技術指導力の担保と継承も大切にして頂きたい。

吉野委員（上級調理師科について）

卒業生としてカリキュラムが充実していたと感じるし、設備や食材も充実していたと実感している。しかしながら関連分野における産学連携などはもう少し体系化をするようお願いしたい。

（４）学修成果

【評価項目】（評価＝適切：４、ほぼ適切：３、やや不適切：２、不適切：１）	評価
就職率の向上が図られているか	４
資格（免許）取得率の向上が図られているか	４
退学率の低減が図られているか	３
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	３
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	４

① 課題

就職に関しては１００％達成できている。退学に関しては退学理由が進路変更など明確であるものの２０１８年度１１名退学している。また、卒業生の活躍や評価の取り纏めが弱い。

② 今後の改善方策

卒業生本人との連絡や訪問などによる就職先とのコミュニケーション頻度を上げる事により活躍や評価の把握をする。また就職先企業に卒業生の状況をヒヤリングしシラバスに反映する事を検討する。

③ 特記事項

東海地区の関連分野における業界とのつながりは年々増えている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

櫻井委員

高校においても退学に関しては早い目に学生の退学意思に気付く努力と早目にコミュニケーションを取る努力をしている。早期に相談に乗ってあげる事が退学防止につながる事もあるので早期取組に努力をして欲しい。

(5) 学生支援

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

中途退学者、卒業生への支援体制強化。2018年度の課外活動に関しては2度の活動にて終わっている。

また、高等学校・高等専修学校との連携に関しても取り組みが少なく課題が残っている。

② 今後の改善方策

中途退学者、卒業生からの問合せ窓口を明確にして体制を整える。新たな窓口としてWEBを利用した発信を予定している。高校との連携に関しては高校への案内や訪問数を増やし職業教育も高めていく。

③ 特記事項

主に担任より保護者との連携も取り授業参観も行い授業内容を見学できる機会や学生が提供する食事を喫食する機会を設けている。また、歴史ある姉妹校にて全国規模の就職に関する支援が可能。

④ 学校関係者評価委員会コメント

櫻井委員

高等学校より専修学校へ模擬授業などの依頼があった際は高校側の主旨を理解し準備をして実のあるものにして頂きたい。

吉野委員

独立支援制度は卒業生にとって有益な活動にあると思う。現在の活動は新規開店のみが対象となっているが、新規開店とあわせて店舗改装の両軸にて運営をする事でより大きな卒業生支援につながると考えます。是非検討頂きたい。

(6) 教育環境

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設, インターンシップ, 海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

海外研修は姉妹校との合同研修で行っている。さらに自由度の高い自校単独運営を目指す。防災・安全管理に関して職員室が3Fにあり校舎内立入に関する防犯上に課題を残している。

② 今後の改善方策

セキュリティー会社と契約をして校舎内立入に関する防犯の強化を図る。
総定員クラスになり最大人数にて新たに避難訓練を行う。

③ 特記事項

災害時を想定した備蓄品を備えた。避難訓練も実施する。

④ 学校関係者評価委員会コメント

堀委員

セキュリティー会社との契約による防犯強化はぜひ進めて頂きたい。

避難訓練に関しても計画を進める事。

学内の実習施設は充実しているので、インターンシップや海外研修もより良い環境整備をお願いしたい。

(7) 学生の受入れ募集

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

地域の認知度を高める。

② 今後の改善方策

開校から3年経ち、様々な実績値を基に正確に情報を伝え、適性に募集を継続する。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

堀委員

在校生の状況や卒業生アンケートを基に入学者数などを確認すると適正に行われていると思われる。教育成果に関しては開校3年とまだ情報の周知はされていないと感じる。教育成果が伝わるように適正な活動を今後も継続して頂きたい。

(8) 財務

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

一昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

【委員コメント】

・特になし

(9) 法令等の遵守

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

現状は適切に法令順守が出来ている。今後も継続する。

② 今後の改善方策

会議や掲示物を通じて、すべての職員の法令順守に対する啓蒙を継続的に図る
学校情報の内容を精査し情報公開に努める。

③ 特記事項

個人情報の保護・管理の徹底に努めている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

吉野委員

法令順守に関しては管理が徹底されていると感じる。学校運営上にて個人情報が多く扱うと思われるので更なる対策講じて継続をお願いしたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

開校以来、適正な学校運営を最優先にし社会貢献・地域貢献の運営にあまり取組めていない。

② 今後の改善方策

学校運営を優先する中で地域や社会にも貢献出来る環境を整える。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

櫻井委員（上級調理師科について）

産学連携にもう少し力を入れて欲しい。立地条件的にも調理と言う分野的にも地域貢献活動も行いやすいと考える。色々な方法が考えられるので前向きに検討して欲しい。

(11) 国際交流

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

留学生に関する就職先の開拓が大きな課題

② 今後の改善方策

留学生の就職可能な企業との連携を深めると共に、行政における政策の情報収集を常に行い、留学生の求人件数を増やす。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

堀委員

留学生の就労ビザ取得が難しい状況にあると思われるが、行政も色々と対策を講じているので最新の情報収集に努め、留学生が活躍できる環境を整えて頂きた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

辻学園の歴史を大切にしながら今の現場に合わせたカリキュラムの見直しを構築して欲しい。現存のカリキュラムで特に問題はないが今の分野業界が求めている人材を育成するべく見直しを行うと、卒業生の更なる活躍が期待できる。入学生の多くも期待している辻学園ブランドを大切に地域貢献も積極的に行い辻学園の地域周知を目指して欲しい。

以上